

南丹市地域創生戦略 (案)

目次

第1章 地域創生戦略について

1. 策定の趣旨	1
2. 計画の期間	1
3. 計画の評価・検証	2
4. 創生戦略の位置づけ	2
5. 地域創生の掲げるテーマ	2

第2章 平成31年度に向けた創生戦略

基本目標1 「しごと」を創出し働く場をつくる	5
(1) 新たな「しごと」にチャレンジする就業・起業支援	
(2) 地域資源を活用した企業誘致と産業力強化	
基本目標2 南丹市への人の流れを増幅させる	7
(1) 定住・移住促進に向けた情報発信と支援	
(2) 観光・交流の拡大に向けた魅力の創出	
基本目標3 若い世代の夢をかなえる	9
(1) 夢をかなえる結婚・出産・子育ての支援	
(2) 次代の担い手を育む教育の充実	
基本目標4 誰もが安心して暮らせる地域づくり	11
(1) 魅力ある次代の地域づくり	
(2) 住み続けたい安心・安全のまちづくり	
(3) とともに歩む広域連携の取り組み	

第1章 地域創生戦略について

1. 策定の趣旨

南丹市においては、人口 47,641 人であった昭和 25 年以降、人口減少傾向の中で推移しており、平成 22 年には昭和 25 年のピーク人口に比べ 26%減の 35,214 人となっています。

こうした人口減少は、京都市や大阪市、東京圏といった都市部への若者人口の流出や長期的な少子化傾向、さらには、人口構造の高齢化に伴う死亡者数の増加などが主な原因となっています。

「南丹市人口ビジョン（仮称）」で示したように、平成 72 年の趨勢人口は 18,000 人程度にまで減少することが見込まれています。少子高齢化を背景とする人口構造の変化や人口減少は、南丹市における経済活動やコミュニティ活動等の活力を衰退させ、ひいては南丹市における安定した生活・暮らしそのものの存立を脅かす事態となることが危惧されるものです。

このような状況認識のもと、南丹市では「定住促進」を市の最重要課題のひとつと定め、平成 25 年度には「南丹市定住促進アクションプラン」を策定するなど、様々な定住促進対策に取り組んできたところです。

こうした取り組みの成果や方向性を踏まえるとともに、国における地方創生の制度的動向とも連動させつつ、南丹市における人口減少対策と地域活性化を総合的かつ効果的に推進していくため、「南丹市地域創生戦略」（以下、「創生戦略」）を策定するものとし

2. 計画の期間

創生戦略の計画期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とします。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
南丹市地域創生戦略	策定				

3. 計画の評価・検証

創生戦略については、計画の推進をより実効性あるものとするために、毎年度における評価・検証とともに、その結果を踏まえ、必要に応じた計画の見直しを行うものとします。

そのため、PDCAサイクルによる評価・検証のしくみを確立するとともに、検証・評価の客観性・妥当性を担保するため、外部有識者等の参画する評価・検証組織を設置するものとします。



<創生戦略におけるPDCAサイクル>

- ① 創生戦略の策定
- ② 施策・事業の着実な実施
- ③ 実施した施策・事業の効果をKPI（重要業績評価指標）等により検証
- ④ 必要に応じた創生戦略の改定

4. 創生戦略の位置づけ

創生戦略は、市の最上位計画である「南丹市総合振興計画」の中に位置付け、「南丹市人口ビジョン（仮称）」で示した目標人口（戦略人口）を達成するために必要な4つの政策（基本目標）を示すもので、定住促進を柱とした「しごと」づくりを中心に、人口減少克服と地域社会の維持・発展に向け、①雇用の創出、②ひとの流れの創出、③少子化の歯止め、④活力ある地域づくりを実現するための施策を戦略的に構築し、市の地域創生の取り組みを推進していきます。

各政策分野を構成する施策については、効果を客観的に検証するためにKPI（重要業績評価指標）を設定しています。

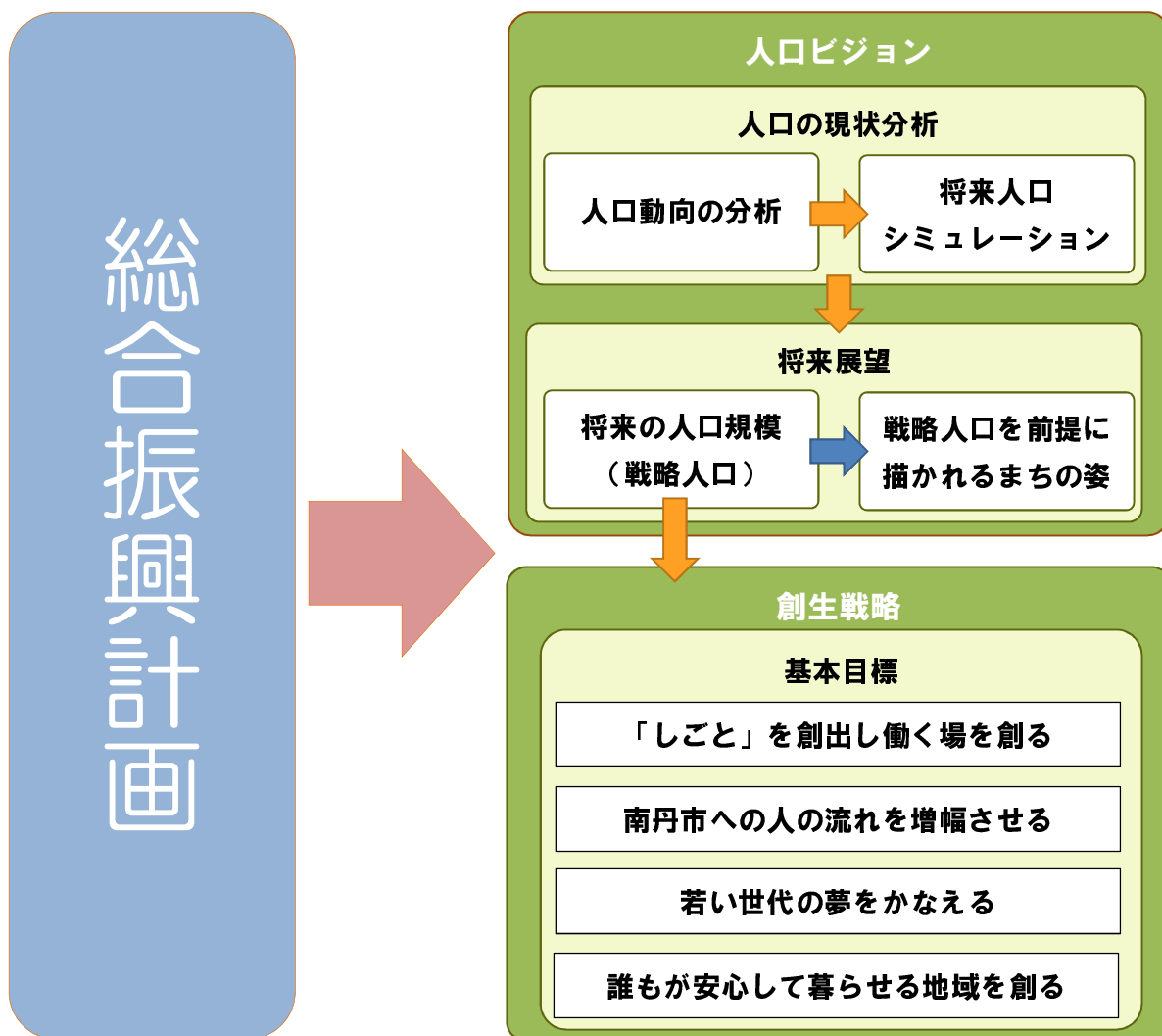
また、4つの政策分野の施策・事業の推進にあたっては、市民との協働が不可欠となります。

5. 地域創生の掲げるテーマ

＝『未来に輝く南丹市をデザインする』＝

45年後のあるべき南丹市の姿を見据え、これまで進めてきた政策を土台として、創生戦略に示した施策を戦略的かつ総合的に進め、未来に輝くまちをデザインし、「真の南丹市」を創生していきます。

【「総合振興計画」と「人口ビジョン」・「創生戦略」の関係】



第2章 平成31年度に向けた創生戦略

〈基本目標〉	〈基本的方向〉	〈施策〉
「しごと」を創出し働く場をつくる	地域資源を活用した「しごと」の創出・支援と安定して働く環境をつくる	<p>新たな「しごと」にチャレンジする就業・起業支援</p> <p>地域資源を活用した企業誘致と産業力強化</p>
南丹市への人の流れを増幅させる	南丹市へのひとの流れを増幅し、定住人口・交流人口の増加を図る	<p>定住・移住促進に向けた情報発信と支援</p> <p>観光・交流の拡大に向けた魅力の創出</p>
若い世代の夢をかなえる	若い世代が就労や結婚・子育てに夢を持ち実現できる環境をつくる	<p>夢をかなえる結婚・出産・子育ての支援</p> <p>次代の担い手を育む教育の充実</p>
誰もが安心して暮らせる地域をつくる	地域特性を生かした地域活性化を促進し、誰もが安心して暮らせる環境をつくる	<p>魅力ある次代の地域づくり</p> <p>住み続けたい安心・安全のまちづくり</p> <p>ともに歩む広域連携の取り組み</p>

基本目標 1 「しごと」を創出し働く場をつくる

〈数値目標〉

数値目標の指標	現 状	目 標 (平成 31 年度)
新たな雇用創出数	—	
就業者数		

〈基本的方向〉

- 地域資源を活用した「しごと」の創出・支援と安定して働ける環境をつくる。

〈施策の展開〉

(1) 新たな「しごと」にチャレンジする就業・起業支援

○本市をはじめ、丹波、京都の伝統や技を受け継ぐ「しごと」、地域の自然や資源を生かした「しごと」、都会以外で働く選択肢を求める多様な価値観を満たす新たな「しごと」など、多様な働き方へのチャレンジを支援します。

KPI (重要業績評価指標)	現 状	目 標 (平成 31 年度)

【想定される主な事業・取り組み】

- ① ものづくり産業雇用支援助成交付金事業
- ② チャレンジジョブ助成事業
- ③ むら・ひと・しごと創生事業
- ④ 新規就農者や農林業の担い手支援

(2) 地域資源を活用した企業誘致と産業力強化

〇市内における就業の場を拡大するため、不動産（土地、建物）ストックを活用した企業誘致を進めるとともに、地域の自然や資源、環境を活用した産業力の強化を支援する。

KPI（重要業績評価指標）	現 状	目 標 （平成31年度）

【想定される主な事業・取り組み】

- ① 誘致企業の支援
- ② サテライトオフィスの誘致
- ③ 創業・起業の支援
- ④ 商店街のにぎわいづくりの支援
- ⑤ 小規模企業等への支援
- ⑥ 南丹市販路拡大支援事業
- ⑦ 南丹ブランド推進助成事業
- ⑧ エコツーリズム推進事業

基本目標 2 南丹市への人の流れを増幅させる

〈数値目標〉

数値目標の指標	現 状	目 標 (平成 31 年度)
転入者数		
転出者数		
観光入込客数		

〈基本的方向〉

- 南丹市への人の流れを増幅し、定住人口・交流人口の増加を図る。

〈施策の展開〉

(1) 定住・移住促進に向けた情報発信と支援

○地域おこし協力隊や定住促進センターを活用し、本市での定住・移住促進に向けた情報発信を行うとともに、定住に必要な基盤確保のための支援を行う。

K P I (重要業績評価指標)	現 状	目 標 (平成 31 年度)

【想定される主な事業・取り組み】

- ① 空き家活用事業
- ② 移住者の支援
- ③ 定住促進に向けた情報発信
- ④ 地域おこし協力隊の活動推進
- ⑤ 定住促進サポートセンター設置

(2) 観光・交流の拡大に向けた魅力の創出

○豊かな観光資源と自然地形を生かして、観光・交流人口の拡大を図る。

KPI (重要業績評価指標)	現 状	目 標 (平成31年度)

【想定される主な事業・取り組み】

- ① 観光まちづくりの推進
- ② 観光イベントの支援
- ③ 観光宣伝事業
- ④ 観光・交流施設の整備・充実
- ⑤ エコツーリズム推進事業（再掲）
- ⑥ 回遊システムの整備

基本目標3 若い世代の夢をかなえる

〈数値目標〉

数値目標の指標	現 状	目 標 (平成31年度)
婚姻数		
合計特殊出生率		
出生数		

〈基本的方向〉

- 若い世代が就労や結婚・子育てに夢を持ち実現できる環境をつくる。

〈施策の展開〉

(1) 夢をかなえる結婚・出産・子育ての支援

○結婚や出産の希望をかなえるべく、それぞれのライフステージにあった施策を展開し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実に取り組みます。

KPI (重要業績評価指標)	現 状	目 標 (平成31年度)

【想定される主な事業・取り組み】

- ① 婚活支援事業
- ② ファミリーサポート事業
- ③ 子育ての不安解消のための支援
- ④ 就学前児童の子育て支援
- ⑤ 子育て支援医療費助成事業
- ⑥ 子育て等支援給付金事業
- ⑦ 保育所・幼稚園の通園に関する支援
- ⑧ 地域の子育て支援

⑨ 不妊治療費給付事業

(2) 次代の担い手を育む教育の充実

○次代を担う子どもたちの自己実現できる力を確かなものとするため、教育環境の充実に
を図るとともに、地域に密着した教育を推進する中で、「ふるさと南丹市」を愛する
心を育む。また、多くの高等教育機関との連携・協力による人財育成を進める。

KPI（重要業績評価指標）	現 状	目 標 (平成31年度)

【想定される主な事業・取り組み】

- ① 英語教育強化地域拠点事業
- ② (保) 幼・小・中連携教育研究指定事業
- ③ 家庭学習支援事業
- ④ 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール導入推進事業）
- ⑤ 情報教育機器整備事業
- ⑥ 大学等連携推進事業

基本目標 4 誰もが安心して暮らせる地域をつくる

〈数値目標〉

数値目標の指標	現 状	目 標 (平成 31 年度)
南丹市が住みやすいと感じている市民の割合		

〈基本的方向〉

- 地域特性を生かした地域活性化を促進し、誰もが安心して暮らせる環境をつくる。

〈施策の展開〉

(1) 魅力ある次代の地域づくり

○都市近郊の立地を生かし、定住・移住の受け皿となる都市基盤の整備とともに日常生活エリアで心豊かに暮らせる地域拠点の形成などに取り組む。また、多様化する地域課題の解決に向け、市民や地域との協働によるまちづくりを推進します。

KPI (重要業績評価指標)	現 状	目 標 (平成 31 年度)

【想定される主な事業・取り組み】

- ① 住宅整備に向けた基盤整備 (区画整理、街路等)
- ② 地域拠点整備事業
- ③ パートナーシップ推進事業
- ④ 地域活性化支援事業
- ⑤ 地域活性化・定住促進リーダーの養成

(2) 住み続けたい安心・安全のまちづくり

○市民が住み慣れた地域で、安全・安心に暮らせるように、災害に備えて防災体制の強化を図り、インフラの長寿命化と公共交通の充実に取り組むとともに、誰もがいつまでも元気で暮らせるまちをつくる。

KPI (重要業績評価指標)	現 状	目 標 (平成31年度)

【想定される主な事業・取り組み】

- ① 地域情報基盤の整備・充実
- ② JR駅舎・駅前広場の整備
- ③ 風水害・土砂災害等の予防・防止
- ④ 地域公共交通の充実

(3) とともに歩む広域連携の取り組み

○近隣の市町がそれぞれの特性や強みを生かして連携・協力するとともに、府とも連携する中で、多様化する住民ニーズや広域化する行政課題に対応していく。

KPI (重要業績評価指標)	現 状	目 標 (平成31年度)

【想定される主な事業・取り組み】

- ① 森の京都の取り組み
- ② 基幹交通の整備促進
- ③ 広域観光の取り組み